

保健福祉圏	横須賀・三浦									
市町村名	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町					
担当部署名	福祉部障害福祉課地域生活支援係	健康福祉部障害福祉課	福祉部障がい福祉課	保健福祉部福祉課	福祉部福祉課					
郵便番号	238-8550	248-8686	249-8686	238-0298	240-0192					
住 所	横須賀市小川町11	鎌倉市御成町18-10	逗子市逗子5-2-16	三浦市城山町1-1	三浦郡葉山町堀内2135					
電話番号	046-822-8249	0467-23-3000 (内線2367)	046-873-1111	046-882-1111 (内線 361)	046-876-1111 (内線236)					
ファックス番号	046-822-6040	0467-25-1443	046-873-4520	046-881-0148	046-876-1717					
Eメールアドレス	hp-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp	shafuku@city.kamakura.kanagawa.jp	syohuku@city.zushi.lg.jp	hoken0101@city.miura.kanagawa.jp	shogai-fukusi@hayama.kanagawa.jp					
保健福祉圏	湘南東部									
市町村名	藤沢市	茅ヶ崎市	寒川町							
担当部署名	福祉健康部障がい福祉課	福祉部障害福祉課	福祉課							
郵便番号	251-8601	253-8686	253-0196							
住 所	藤沢市朝日町1-1	茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1	高座郡寒川町宮山165							
電話番号	0466-50-3528	0467-82-1111 (内線3211~3216)	0467-74-1111							
ファックス番号	0466-25-7822	0467-82-5157	0467-74-5613							
Eメールアドレス	fj-shogaifu@city.fujisawa.lg.jp	shoufuku@city.chigasaki.kanagawa.jp	fukushi@town.samukawa.kanagawa.jp							
保健福祉圏	湘南西部									
市町村名	平塚市	秦野市	伊勢原市	大磯町	二宮町					
担当部署名	障がい福祉課	障害福祉課	障がい福祉課	町民福祉部福祉課障がい福祉係	健康福祉部 福祉保障課					
郵便番号	254-8686	257-8501	259-1188	259-0111	259-0196					
住 所	平塚市浅間町9-1	秦野市桜町1-3-2	伊勢原市田中348番地	中郡大磯町国府本郷1196	中郡二宮町二宮961					
電話番号	0463-21-8774	0463-82-7616	0463-94-4711 (内線1245)	0463-73-4530	0463-71-3311					
ファックス番号	0463-21-1213	0463-82-8020	0463-95-7612	0463-73-1285	0463-73-0134					
Eメールアドレス	shogai@city.hiratsuka.kanagawa.jp	svougai@city.hadano.kanagawa.jp	shien@c@sehara-city.jp	s-fukushi@town.oiso.kanagawa.jp	fukushi@town.ninomiya.kanagawa.jp					
保健福祉圏	県 央									
市町村名	厚木市	大和市	海老名市	座間市	綾瀬市	愛川町	清川村			
担当部署名	福祉部障がい福祉課	障がい福祉課障がい福祉担当	保健福祉部 障がい福祉課	福祉部障がい福祉課	福祉部障がい福祉課	福祉支援課障害福祉班	保健福祉課			
郵便番号	243-8511	242-0001	243-0492	252-8566	252-1192	243-0301	243-0915			
住 所	厚木市中町3-17-17	大和市下鶴間1-31-7 市保健福祉センター5階	海老名市勝瀬175-1	座間市緑ヶ丘1-1-1	綾瀬市早川550	愛甲郡愛川町角田251-1	愛甲郡清川村煤ヶ谷2216			
電話番号	046-225-2221	046-260-5665	046-235-4813	046-252-7978	046-70-5623	046-285-2111	046-288-3861			
ファックス番号	046-224-0229	046-264-0123	046-233-5731	046-252-7043	0467-70-5702	046-285-6010	046-288-2025			
Eメールアドレス	2100@city.atsugi.kanagawa.jp	ke_shoug@city.yamato.lg.jp	shougai-fukusi@city.ebina.kanagawa.jp	svoufuku@city.zama.kanagawa.jp	wm.705623@city.avase.kanagawa.jp	fukushi-shien@town.aikawa.kanagawa.jp	fukushi@town.kiyokawa.kanagawa.jp			
保健福祉圏	県 西									
市町村名	小田原市	南足柄市	中井町	大井町	松田町	山北町	開成町	箱根町	真鶴町	湯河原町
担当部署名	福祉健康部障がい福祉課	福祉課障害福祉班	福祉課	介護福祉課	福祉課	福祉課福祉推進班	福祉課	福祉部福祉課障がい福祉係	健康福祉課	社会福祉課
郵便番号	250-8555	250-0105	259-0197	258-0019	258-8585	258-0195	258-8502	250-0398	259-0202	259-0392
住 所	小田原市荻窪300	南足柄市関本440	足柄上郡中井町比奈窪56	足柄上郡大井町金子1964-1 大井町保健福祉センター	足柄上郡松田町松田惣領2037	足柄上郡山北町山北1301-4	足柄上郡開成町延沢773番地	足柄下郡箱根町湯本256番地	足柄下郡真鶴町岩244番地の1	足柄下郡湯河原町中央2-2-1
電話番号	0465-33-1467	0465-73-8047	0465-81-5548	0465-83-8024	0465-83-1226	0465-75-3644	0465-84-0316	0460-85-7790	0465-68-1131 (内線 242)	0465-63-2111 (内線 314)
ファックス番号	0465-33-1317	0465-74-0545	0465-81-5657	0465-83-8016	0465-44-4685	0465-79-2171	0465-85-3433	0460-85-8124	0465-68-5119	0465-63-2940
Eメールアドレス	shofuku@city.odawara.kanagawa.jp	svougai-fukushi@city.minamiashigara.kanagawa.jp	fukushi@town.nakai.kanagawa.jp	kaigo@town.oi.kanagawa.jp	fukushi@town.matsuda.kanagawa.jp	fukusi@town.yamakita.kanagawa.jp	fukushika@town.kaisei.kanagawa.jp	web_fukushi@town.hakone.kanagawa.jp	ken_shougai-fukushi@town.manazuru.kanagawa.jp	fukushi@town.yugawara.kanagawa.jp

II 手話奉仕員養成等

保健福祉圏 市町村名		全体集計	保健福祉圏				
			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西
質問及び回答選択肢等							
問Ⅱ-1	平成29年度に、手話奉仕員養成を実施しましたか。						
	1 実施した	26	5	3	5	6	7
	2 実施していない	4	0	0	0	1	3
問Ⅱ-2	どんなカリキュラムで実施しましたか。						
	1 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム全課程	18	5	1	3	4	5
	2 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムの一部を実施	8	0	2	2	2	2
	3 独自のカリキュラム	0	0	0	0	0	0
	4 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-3	実施形態について伺います。						
	1 市町村独自に実施	3	2	0	0	1	0
	2 聴覚障害者協会に委託	19	2	2	5	4	6
	3 手話サークルに委託	0	0	0	0	0	0
	4 社会福祉団体に委託	1	0	0	0	1	0
	5 その他	4	1	1	1	0	1
問Ⅱ-4	講習の名称、回数、時間数等を記載してください。						
	1 名称	26	5	3	5	6	7
	2 回数	26	5	3	5	6	7
	3 時間数	26	5	3	5	6	7
	4 定員	26	5	3	5	6	7
	5 受講人数	26	5	3	5	6	7
	6 修了人数	25	5	3	4	6	7
問Ⅱ-5	実技講師はどなたが担当しましたか。						
	1 聴覚障害者協会会員と手話通訳者のペア	25	5	3	5	6	6
	2 聴覚障害者協会会員と手話サークル会員のペア	0	0	0	0	0	0
	3 聴覚障害者協会会員のみ	0	0	0	0	0	0
	4 手話通訳者または手話サークル会員のみ	0	0	0	0	0	0
	5 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-6	講義講師はどなたが担当しましたか。(複数回答)						
	1 聴覚障害者協会会員と手話通訳者のペア	21	2	3	5	4	7
	2 聴覚障害者協会会員と手話サークル会員のペア	0	0	0	0	0	0
	3 聴覚障害者協会会員のみ	2	1	0	0	1	0
	4 手話通訳者または手話サークル会員のみ	2	1	0	0	1	0
	5 外部講師	9	5	2	2	0	0
	6 その他	7	2	0	0	4	1
問Ⅱ-7	手話奉仕員養成目標「手話を習得し、地域の聴覚障害者と手話で会話ができ、習得した手話等を活用して、地域の聴覚障害者団体の行事への参加や、手話サークル活動への参加等、手話活動を行う」を達成できていますか。						
	1 達成できている	20	3	1	4	6	6
	2 達成できていない	3	0	1	1	0	1
	3 その他	3	2	1	0	0	0
問Ⅱ-8	手話奉仕員養成目標が「達成できていない」と回答した市町村に伺います。達成できていないのは、どの部分ですか。(複数回答)						
	1 聴覚障害者と、手話で会話ができない(該当するものすべてに○をしてください)	0	0	0	0	0	0
	(1)会話に必要な知識が身についていない	0	0	0	0	0	0
	(2)会話に必要な技術が身についていない	1	0	1	0	0	0
	2 聴覚障害者団体の行事へ参加が不十分	2	0	1	1	0	0
	3 手話サークル活動への参加が不十分	3	0	1	1	0	1
	4 その他	1	0	0	1	0	0
問Ⅱ-9	目標が達成できない原因は何だと感じていますか。(複数回答)						
	1 予算が足りないため、十分な講習時間が確保できない。	1	0	0	0	0	1
	2 指導講師が足りない。	0	0	0	0	0	0
	3 その他	2	0	1	1	0	0
問Ⅱ-10	手話奉仕員養成を実施するにあたっての課題は何だと思いますか。(複数回答)						
	1 講師不足	9	2	2	3	2	0
	2 聴覚障害者との交流促進	9	2	1	2	3	1
	3 受講者不足	7	1	0	2	3	1
	4 受講者のレベルに合わせた講習実施	10	3	1	3	2	1

	5 運営が大変	8	1	0	2	0	5
	6 その他	3	2	1	0	0	0
問Ⅱ-11	平成30年度の手話奉仕員養成で改善、変更があったものがあれば記載してください。 (回答欄)	3	0	1	0	2	0
問Ⅱ-12	「実施していない」理由は何ですか。(複数回答)						
	1 予算が確保できない	1	0	0	0	0	1
	2 会場が確保できない	0	0	0	0	0	0
	3 講師が確保できない	0	0	0	0	0	0
	4 運営が大変だから	1	0	0	0	0	1
	5 その他	3	0	0	0	1	2
問Ⅱ-13	平成30年度は実施しましたか。または、実施しますか。						
	1 実施する、または実施した	20	5	3	5	6	1
	2 実施しない	10	0	0	0	1	9
問Ⅱ-14	「実施する、または実施した」と回答した市町村に伺います。どんなカリキュラムで実施または実施予定ですか。						
	1 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム全課程	15	5	3	3	4	0
	2 厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムの一部を実施	5	0	0	2	2	1
	3 独自のカリキュラム	0	0	0	0	0	0
	4 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-15	実施形態について伺います。						
	1 市町村独自に実施	3	2	0	0	1	0
	2 聴覚障害者協会に委託	13	2	2	5	4	0
	3 手話サークルに委託	0	0	0	0	0	0
	4 社会福祉団体に委託	2	0	1	0	1	0
	5 その他	4	1	1	1	0	1
問Ⅱ-16	講習の名称、回数、時間数等を記載してください。						
	1 名 称	20	5	3	5	6	1
	2 回 数	20	5	3	5	6	1
	3 時間数	20	5	3	5	6	1
	4 定 員	20	5	3	5	6	1
	5 受講人数(実施済の場合記載)	15	4	1	3	6	1
	6 修了人数(実施済の場合記載)	4	1	0	1	2	0
問Ⅱ-17	実技講師はどなたが担当しましたか。または、担当予定ですか。						
	1 聴覚障害者協会会員と手話通訳者のペア	20	5	3	5	6	1
	2 聴覚障害者協会会員と手話サークル会員のペア	0	0	0	0	0	0
	3 聴覚障害者協会会員のみ	0	0	0	0	0	0
	4 手話通訳者または手話サークル会員のみ	0	0	0	0	0	0
	5 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-18	平成29年度、30年度とも手話奉仕員養成を「実施しない」市町村に伺います。今後、実施する予定はありますか。						
	1 実施する予定がある(平成 年度)	3	0	0	0	0	3
	2 実施する予定はない	2	0	0	0	1	1
	3 検討中	3	0	0	0	0	3
問Ⅱ-19	平成29年度に、手話奉仕員養成以外に、手話に関する講座等を実施しましたか						
	1 実施した	15	5	2	3	4	1
	2 実施していない	14	0	1	2	3	8
	3 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-20	手話奉仕員養成以外の手話に関する講座等の目的は何ですか。(複数回答)						
	1 手話の普及、拡大のための講座等	5	2	1	1	0	1
	2 手話通訳者養成につなげるための補習的講座等	12	5	1	3	3	0
	3 その他	1	0	0	0	1	0
問Ⅱ-21	「手話の普及、拡大のための講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名 称	5	2	1	1	0	1
	2 回 数	5	2	1	1	0	1
	3 時間数	5	2	1	1	0	1
	4 定 員	5	2	1	1	0	1
	5 講 師(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。)	0	0	0	0	0	0
	(1)聴覚障害者	4	2	1	1	0	0
	(2)手話通訳者、手話通訳士	4	2	1	1	0	0
	(3)その他	3	1	0	1	0	1

	6 内容	4	1	1	1	0	1
問Ⅱ-22	「手話の普及、拡大のための講座等」で、平成30年度に改善、変更した項目があれば、記載してください。 (回答欄)						
		2	1	0	0	0	1
問Ⅱ-23	「手話の普及、拡大のための講座等」の課題は、何だと思えますか。具体的に記載してください。 (回答欄)						
		4	1	1	1	0	1
問Ⅱ-24	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称	12	5	1	3	3	0
	2 回数	12	5	1	3	3	0
	3 時間数	12	5	1	3	3	0
	4 定員	12	5	1	3	3	0
	5 テキスト	12	5	1	3	3	0
	6 内容	11	4	1	3	3	0
	7 講師(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。)						
	(1)聴覚障害者	12	5	1	3	3	0
	(2)手話通訳者、手話通訳士	12	5	1	3	3	0
	(3)その他	12	5	1	3	3	0
問Ⅱ-25	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」と回答した市町村に伺います。手話通訳者養成につなげるために聴覚障害者との会話や手話の表現、読み取りなどは十分に向上しましたか。						
	1 十分に向上した	0	0	0	0	0	0
	2 相当向上した	3	1	0	1	1	0
	3 ある程度向上した	8	4	1	2	1	0
	4 なかなか向上しない	1	0	0	0	1	0
	5 向上しない	0	0	0	0	0	0
	6 その他	0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-26	「なかなか向上しない」、「向上しない」と回答した市町村に伺います。どのあたりの向上が難しいですか。(複数回答)						
	1 聴覚障害者との会話	0	0	0	0	0	0
	2 手話の表現	0	0	0	0	0	0
	3 手話の読み取り	1	0	0	0	1	0
	4 その他	1	0	0	0	1	0
問Ⅱ-27	「向上が難しい」理由は何だと思えますか。						
	1 予算が足りないため、十分な講習時間を確保できない	0	0	0	0	0	0
	2 指導講師が足りない	0	0	0	0	0	0
	3 その他	1	0	0	0	1	0
問Ⅱ-28	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」で、平成30年度に改善、変更した項目があれば記載してください。 (回答欄)						
		4	1	0	2	1	0
問Ⅱ-29	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」の課題は何だと思えますか。具体的に記載してください。 (回答欄)						
		10	5	0	2	3	0
問Ⅱ-30	「その他」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容か記載してください。						
	1 名称	1	0	0	0	1	0
	2 回数	1	0	0	0	1	0
	3 時間数	1	0	0	0	1	0
	4 定員	1	0	0	0	1	0
	5 内容	1	0	0	0	1	0
	6 講師(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。)						
	(1)聴覚障害者	1	0	0	0	1	0
	(2)手話通訳者、手話通訳士	1	0	0	0	1	0
	(3)その他	4	0	0	1	3	0
問Ⅱ-31	「その他」と回答した市町村に伺います。平成30年度に改善、変更があった事項を記載してください。 (回答欄)						
		0	0	0	0	0	0
問Ⅱ-32	平成30年度は手話奉仕員養成以外に、手話に関する講座等を実施しましたか、または実施しますか。						
	1 実施した、または実施の予定	13	5	0	3	4	1
	2 実施しない	17	0	3	2	3	9
	3 検討中	0	0	0	0	0	0

問Ⅱ-33	「実施した、または実施の予定」の市町村に伺います。目的は何ですか。(複数回答)						
	1 手話の普及、拡大のための講座等	4	2	0	1	0	1
	2 手話通訳者養成につなげるための補習的講座等	12	5	0	3	3	1
	3 その他	1	0	0	0	1	0
問Ⅱ-34	「手話の普及、拡大のための講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容が記載してください。						
	1 名称	5	2	0	1	1	1
	2 回数	5	2	0	1	1	1
	3 時間数	5	2	0	1	1	1
	4 定員	5	2	0	1	1	1
	5 講師(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。)						
	(1)聴覚障害者	5	2	0	1	1	1
	(2)手話通訳者、手話通訳士	5	2	0	1	1	1
	(3)その他	1	0	0	0	1	0
	6 内容	1	1	0	0	0	0
問Ⅱ-35	「手話通訳者養成につなげるための補習的講座等」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容が記載してください。						
	1 名称	11	5	0	3	2	1
	2 回数	11	5	0	3	2	1
	3 時間数	11	5	0	3	2	1
	4 定員	11	5	0	3	2	1
	5 テキスト	10	4	0	3	2	1
	6 内容	9	3	0	3	2	1
	7 講師(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に記載してください。)						
	(1)聴覚障害者	10	4	0	3	2	1
	(2)手話通訳者、手話通訳士	10	4	0	3	2	1
(3)その他	11	5	0	3	2	1	
問Ⅱ-36	「その他」と回答した市町村に伺います。具体的にはどんな内容が記載してください。						
	1 名称	1	0	0	0	1	0
	2 回数	1	0	0	0	1	0
	3 時間数	1	0	0	0	1	0
	4 定員	1	0	0	0	1	0
	5 内容	1	0	0	0	1	0
	6 講師(該当するもの全てに○印、「その他」は回答欄に具体的に記載してください。)						
	(1)聴覚障害者	1	0	0	0	1	0
(2)手話通訳者、手話通訳士	1	0	0	0	1	0	
(3)その他	1	0	0	0	1	0	
問Ⅱ-37	市町村の手話奉仕員養成が、県の手話通訳者養成になかなかつながらない現状があります。その理由は何だと思えますか。(複数回答)						
	1 手話通訳者養成を受講するための試験が難し過ぎる。(学科試験)	11	0	2	1	3	5
	2 手話通訳者養成を受講するための試験が難し過ぎる。(技術試験)	12	1	2	1	3	5
	3 講習会場が藤沢なので、受講しにくい	11	2	0	1	2	6
	4 手話奉仕員養成で、十分な内容の講習ができていない	6	2	1	1	1	1
	5 その他	12	2	3	1	4	2
問Ⅱ-38	県の手話通訳者資格取得のためには、手話学習経験が何年程度必要と思えますか。						
	1 2年	1	1	0	0	0	0
	2 3年	4	0	0	2	1	1
	3 4年	2	0	1	1	0	0
	4 5年	10	1	1	1	2	5
	5 6年	5	2	1	0	2	0
	6 7年	0	0	0	0	0	0
	7 8年	1	1	0	0	0	0
	8 9年	0	0	0	0	0	0
	9 10年	0	0	0	0	0	0
	10 その他	5	1	0	0	2	2
問Ⅱ-39	県の手話通訳者養成に改善を希望することは何ですか。(複数回答)						
	1 養成コースの複数化	11	2	3	3	3	0
	2 養成コースの地域開催	18	2	1	3	4	8
	3 養成コースの充実	6	0	2	0	3	1
	4 再受験者対策の充実	16	4	2	4	4	2
	5 合格基準の緩和	3	0	1	0	1	1

	6 その他	5	2	0	0	0	3
問Ⅱ-40	県の手話通訳者養成が、平成30年度から講習回数拡大、面接試験導入等大きく改編されることを知っていますか。						
	1 知っている	18	4	3	2	5	4
	2 知らない	12	1	0	3	2	6
問Ⅱ-41	手話通訳者を増やしていくために、どんなことが必要だと思いますか。(複数回答)						
	市町村での取り組み						
	1 聴覚障害者との交流促進	18	4	2	2	4	6
	2 手話、聴覚障害者理解の普及	21	3	2	5	6	5
	3 手話奉仕員養成の充実	15	2	2	3	3	5
	4 手話通訳者の身分保障	19	2	2	3	5	7
	5 その他	1	0	0	0	0	1
	県での取り組み						
	1 手話通訳者養成講習会の充実	19	5	2	3	6	3
	2 手話通訳者の身分保障	22	4	2	4	6	6
	3 手話、聴覚障害者理解の普及	18	2	2	3	5	6
	4 市町村手話奉仕員養成と県手話通訳者養成をつなげる工夫	24	5	3	4	5	7
	5 財政的な支援	20	4	2	2	5	7
	6 その他	1	0	0	0	0	1
問Ⅱ-42	手話奉仕員養成、手話通訳者養成等について意見があれば、自由に記載してください。(回答欄)	6	0	3	0	2	1
問Ⅱ-43	市町村職員を対象とした、聴覚障害、聴覚障害者理解のための研修等実施しましたか。						
	1 実施した	7	0	2	1	2	2
	2 実施していない	23	5	1	4	5	8
問Ⅱ-44	「実施した」と回答した市町村に伺います。具体的にどんな内容でしたか。						
	1 名称	7	0	2	1	2	2
	2 対象	7	0	2	1	2	2
	3 回数	7	0	2	1	2	2
	4 時間数	7	0	2	1	2	2
	5 定員	6	0	1	1	2	2
	6 内容(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に具体的に記載してください)						
	(1)聴覚障害に関する講演	5	0	0	1	2	2
	(2)聴覚障害者の体験談	3	0	0	0	1	2
	(3)手話講習	7	0	2	1	2	2
	(4)その他	7	0	2	1	2	2
	7 講師(該当するものすべてに○。「その他」は回答欄に具体的に記載してください)						
	(1)聴覚障害者	3	0	0	0	1	2
	(2)手話通訳者、手話通訳士	5	0	1	1	1	2
	(3)その他	7	0	2	1	2	2
問Ⅱ-45	「実施していない」と回答した市町村に伺います。実施していない理由は何ですか。(複数回答)						
	1 必要性を感じないから	2	0	0	0	1	1
	2 時間的に余裕がないから	15	4	0	2	3	6
	3 予算が確保できないから	10	2	0	1	3	4
	4 講師がいないから	4	0	0	1	2	1
	5 運営が大変だから	4	0	0	0	1	3
	6 その他	7	1	1	2	2	1
問Ⅱ-46	市町村職員を対象とした、聴覚障害、聴覚障害者理解のための研修等について、平成30年度に改善、変更したことがあれば記載ください。(回答欄)	4	1	1	1	0	1

Ⅲ 要約筆記者養成等

保健福祉圏		全体集計	保健福祉圏					
市町村名			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	
質問及び回答選択肢等		回答欄						
問Ⅲ-1	平成29年度に、要約筆記者養成講習会等を実施しましたか。							
	1 実施した		9	3	1	2	3	0
	2 実施していない		21	2	2	3	4	10
問Ⅲ-2	講習会等の講習内容は、何についてでしたか。							
	1 手書き要約筆記		2	1	0	1	0	0
	2 パソコン要約筆記		4	1	0	1	2	0
	3 手書き、パソコンの両方		3	1	1	0	1	0
問Ⅲ-3	実施形態について伺います。							
	1 市町村独自に実施		0	0	0	0	0	0
	2 中途失聴者、難聴者団体に委託		1	1	0	0	0	0
	3 要約筆記サークルに委託		3	0	0	0	3	0
	4 社会福祉団体に委託		0	0	0	0	0	0
	5 その他		5	2	1	2	0	0
問Ⅲ-4	講習会等の名称、回数、時間等を記載してください。							
	1 名称		9	3	1	2	3	0
	2 回数		9	3	1	2	3	0
	3 時間数							
	(1)1回あたり		9	3	1	2	3	0
	(2)総時間数		9	3	1	2	3	0
	4 定員		8	2	1	2	3	0
	5 受講人数		9	3	1	2	3	0
6 修了人数		8	3	1	1	3	0	
問Ⅲ-5	実技講師はどなたが担当しましたか。							
	1 中途失聴者、難聴者団体会員と要約筆記者		3	3	0	0	0	0
	2 中途失聴者、難聴者団体会員と要約筆記サークル会員		1	0	0	0	1	0
	3 中途失聴者、難聴者団体会員のみ		0	0	0	0	0	0
	4 要約筆記者、要約筆記サークル会員のみ		6	1	1	2	2	0
	5 その他		0	0	0	0	0	0
問Ⅲ-6	講義講師はどなたが担当しましたか。(複数回答)							
	1 中途失聴者、難聴者団体会員と要約筆記者		3	3	0	0	0	0
	2 中途失聴者、難聴者団体会員と要約筆記サークル会員		1	0	0	0	1	0
	3 中途失聴者、難聴者団体会員のみ		0	0	0	0	0	0
	4 要約筆記者、要約筆記サークル会員のみ		4	0	1	2	1	0
	5 外部講師		5	1	1	1	2	0
	6 その他		0	0	0	0	0	0
問Ⅲ-7	講習会等修了者に対して、市町村から修了証等を交付しましたか。							
	1 交付した		5	2	0	1	2	0
	2 交付していない		4	1	1	1	1	0
問Ⅲ-8	要約筆記者養成講習会等で、平成30年度に改善、変更があったものがあれば記載してください。(回答欄)							
			0	0	0	0	0	0
問Ⅲ-9	平成29年度に、養成講習会以外に要約筆記に関する講座等を実施しましたか。							
	1 実施した		3	2	1	0	0	0
	2 実施していない		9	1	2	2	3	1
問Ⅲ-10	実施した講座等の内容は何ですか。							
	1 要約筆記の体験会		3	2	1	0	0	0
	2 聞こえにくさ(難聴)に関する講演会		0	0	0	0	0	0
	3 市町村在住の中途失聴・難聴者対象の要約筆記啓発講座		0	0	0	0	0	0
	4 その他		1	1	0	0	0	0
問Ⅲ-11	実施形態について伺います。							
	1 市町村独自に実施		0	0	0	0	0	0
	2 中途失聴者、難聴者団体に委託		0	0	0	0	0	0
	3 要約筆記者、要約筆記サークルに委託		3	2	1	0	0	0
	4 社会福祉団体に委託		0	0	0	0	0	0
	5 その他		0	0	0	0	0	0
問Ⅲ-12	実施した講座等の名称、回数、時間数を記載してください。							
	1 名称		3	2	1	0	0	0
	2 回数		3	2	1	0	0	0

	3 時間数							
	(1)1回あたり		3	2	1	0	0	0
	(2)総時間数		3	2	1	0	0	0
	4 定員		3	2	1	0	0	0
	5 受講人数		3	2	1	0	0	0
	6 修了人数		2	1	1	0	0	0
問Ⅲ-13	講師はどなたが担当しましたか。							
	1 中途失聴者、難聴者団体会員と要約筆者		1	1	0	0	0	0
	2 中途失聴者、難聴者団体会員と要約筆記サークル会員		0	0	0	0	0	0
	3 中途失聴者、難聴者団体会員のみ		0	0	0	0	0	0
	4 要約筆者、要約筆記サークル会員のみ		2	1	1	0	0	0
	5 その他		1	0	1	0	0	0
問Ⅲ-14	養成講習会以外の要約筆記に関する講座等で、平成30年度に改善、変更した項目があれば記載してください。 (回答欄)		3	1	1	0	1	0
問Ⅲ-15	要約筆者養成講習会等を開催していない理由は何ですか。(複数回答)							
	1 予算がないから		10	0	1	2	2	5
	2 要約筆者が十分足りているから		3	1	0	0	0	2
	3 講師の担い手がいないから		9	0	2	3	1	3
	4 運営が大変だから		6	0	0	2	1	3
	5 その他		9	1	1	0	2	5
問Ⅲ-16	要約筆者養成講習会を開催してほしいという声は、聴覚障害者や要約筆者、要約筆記サークルから寄せられていますか。							
	1 ある		8	1	1	3	1	2
	2 ない		15	2	1	2	3	7
	3 分からない		5	0	1	0	3	1
問Ⅲ-17	県の要約筆者養成講習会で、市町村の要約筆者養成講習会等の修了者を対象とした、追加募集が行われていることを知っていますか。							
	1 知っている		8	2	1	1	3	1
	2 知らない		22	3	2	4	4	9
問Ⅲ-18	要約筆者養成講習会等の課題は何だと思えますか。自由にお書きください。 (回答欄)		6	0	2	2	2	0

IV 厚生労働省市町村意思疎通支援事業モデル要綱関連

保健福祉圏 市町村名		全体集計	保健福祉圏				
			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西
質問及び回答選択肢等		回答欄					
問IV-1	「厚生労働省市町村意思疎通支援事業モデル要綱」(平成25年3月27日通知)に準じた要綱に改正されていますか。						
	1 改正した	12	2	0	3	1	6
	2 改正する予定がある	3	0	1	0	0	2
	3 改正する予定はない	12	2	0	2	6	2
	4 その他	3	1	2	0	0	0
問IV-2	「改正した」または「改正する予定がある」と回答した市町村に伺います。改正した年度、改正予定の年度を回答欄にご記載ください。						
	(回答欄)	15	2	1	3	1	8
問IV-3	意思疎通支援者派遣に係る連絡調整業務を担う連絡調整業務担当者を設置していますか。 「連絡調整業務等担当者の設置」は、意思疎通支援者の派遣に係る連絡調整に関する業務以外に、聴覚障害当事者等の課題を把握し、日常生活支援や社会参加支援を行うことも重要な業務であることから、手話通訳者又は要約筆記者の設置が望ましい。 (厚生労働省「意思疎通支援事業実施要綱の解釈等について」から)						
	1 設置している	14	4	3	3	3	1
	2 設置していない	16	1	0	2	4	9
問IV-4	連絡調整業務担当者は、どんな資格をお持ちですか。						
	1 手話通訳士または手話通訳者	12	3	3	2	3	1
	2 要約筆記者	1	1	0	0	0	0
	3 その他	2	1	0	1	0	0
問IV-5	連絡調整業務担当者は、意思疎通支援者派遣に係る連絡調整業務以外に、どんな業務を担っていますか。(複数回答)						
	1 聴覚障害当事者等の課題把握	11	3	3	2	2	1
	2 聴覚障害当事者等への日常生活支援	9	3	2	1	2	1
	3 聴覚障害当事者等への社会参加支援	9	3	2	1	2	1
	4 その他	8	1	3	2	1	1
	5 意思疎通支援者派遣に係る連絡調整業務以外は、行っていない。	1	0	0	0	1	0
問IV-6	連絡調整業務担当者を設置していない理由は何ですか。(複数回答)						
	1 適任の手話通訳者等がない	6	0	0	1	2	3
	2 予算が確保できない	4	0	0	1	1	2
	3 意思疎通支援者派遣事業を実施していない	1	0	0	0	0	1
	4 必要性を感じない	7	0	0	0	3	4
	5 その他	5	1	0	1	2	1
問IV-7	今後、連絡調整業務担当者を設置する予定はありますか。						
	1 設置した、または設置する予定がある	0	0	0	0	0	0
	2 設置する予定はない	14	0	0	2	4	8
	3 検討中	3	1	0	1	0	1
問IV-8	連絡調整業務担当者について、平成30年度に変更、改善した項目があれば、記載してください。						
	(回答欄)	4	0	2	2	0	0
問IV-9	連絡調整業務担当者についての課題があれば、お書きください。						
	(回答欄)	9	2	2	2	2	1
問IV-10	市町村内在住の聴覚障害者が他の都道府県で手話通訳者・要約筆記者を必要とした際、派遣は可能ですか。 (広域派遣: 県外への派遣) (例) 実家の北海道で母親の葬式がある場合、その際の派遣者は北海道内、もしくは訪問先市町村へ依頼し、報酬は居住市町村から支払う等。						
	1 派遣できる	23	5	3	4	6	5
	2 派遣できない	8	1	0	1	1	5
問IV-11	県外への派遣について「派遣できない」と回答した市町村に伺います。派遣できない理由は何ですか。(複数回答)						
	1 派遣対象者ではないから	0	0	0	0	0	0
	2 派遣内容が要綱に該当しない	5	0	0	1	0	4
	3 派遣費が支払えないから	1	0	0	0	0	1
	4 予算が足りない	1	0	0	0	0	1
	5 その他	3	1	0	0	1	1
問IV-12	県外への派遣について、平成30年度に改善、変更した項目があれば記載してください。						
	(回答欄)	5	1	2	0	1	1
問IV-13	他都道府県在住の聴覚障害者が来県し手話通訳者・要約筆記者を必要とした際、依頼は可能ですか。 (広域派遣: 来県者への派遣) (例) 広島県の聴覚障害者が、神奈川県内の病院を受診する場合、その際の派遣者は訪問先市町村の派遣制度を使って派遣し、報酬は広島県もしくは居住市町村から支払を受けることができる。						
	1 派遣できる	11	3	0	4	2	2
	2 派遣できない	20	3	3	1	5	8
問IV-14	来県者への派遣について「派遣できない」と回答した市町村に伺います。派遣できない理由は何ですか。(複数回答)						
	1 派遣対象者ではないから	11	1	3	1	3	3
	2 派遣内容が要綱に該当しない	10	2	3	0	0	5
	3 派遣費が受け取れないから	3	0	1	0	0	2
	4 手話通訳者、要約筆記者が少ないから	3	0	0	0	0	3
	5 その他	5	2	0	0	2	1
問IV-15	来県者への派遣について、平成30年度に改善、変更した項目があれば記載してください。						

	(回答欄)		5	1	1	1	1	1
問IV-16	広域派遣の申請は何件ありましたか。件数を回答欄に記載してください。							
	1 手話通訳者派遣	件数	55	2	13	8	31	1
	2 要約筆記者派遣	件数	0	0	0	0	0	0
問IV-17	広域派遣の課題について、自由に記載してください。							
	(回答欄)		3	1	1	1	0	0
問IV-18	手話通訳者の技術及び知識の向上のための研修会等を市町村で実施していますか。							
	1 実施している		7	2	3	1	0	1
	2 実施していない		23	3	0	4	7	9
	3 その他		0	0	0	0	0	0
問IV-19	手話通訳者の研修等の実施について伺います。どんな内容のものを、年何回実施しましたか。それぞれの回数を回答欄に記載してください。							
	1 技術的な研修等		6	2	2	1	0	1
	2 知識的な研修等		6	2	2	1	0	1
	3 その他		2	0	1	0	0	1
問IV-20	手話通訳者の研修等を実施していない理由は何ですか。(複数回答)							
	1 講師がない		5	1	0	1	2	1
	2 予算が確保できない		13	3	0	3	3	4
	3 意思疎通支援者派遣事業を実施していない		1	0	0	0	0	1
	4 必要性を感じない		7	0	0	1	3	3
	5 その他		9	1	0	1	3	4
問IV-21	手話通訳者の研修を、外部で担う、団体、機関があれば委託したいと思いますか。							
	1 委託したいと思う		12	2	1	3	1	5
	2 委託したいとは思わない		7	1	0	0	5	1
	3 その他		11	2	2	2	1	4
問IV-22	手話通訳者の研修等で、平成30年度に変更、改善した項目があれば記載してください。							
	(回答欄)		4	0	2	0	1	1
問IV-23	手話通訳者の研修等での、課題があればお書きください。							
	(回答欄)		5	0	3	0	2	0
問IV-24	要約筆記者の、技術及び知識の向上のための研修会等を市町村で実施していますか。							
	1 実施している		6	2	3	0	0	1
	2 実施していない		24	3	0	5	7	9
	3 その他		0	0	0	0	0	0
問IV-25	要約筆記者の研修等の実施について伺います。どんな内容のものを、年何回実施しましたか。回答欄にそれぞれの平成29年度実施した回数をご記載ください。							
	1 技術的な研修等		5	2	2	0	0	1
	2 知識的な研修等		5	2	2	0	0	1
	3 その他		3	1	1	0	0	1
問IV-26	要約筆記者の研修等を実施していない理由は何ですか。(複数回答)							
	1 講師がない		7	1	1	1	2	2
	2 予算が確保できない		13	2	1	4	3	3
	3 意思疎通支援者派遣事業を実施していない		3	1	0	0	0	2
	4 必要性を感じない		9	0	0	1	3	5
	5 その他		7	0	0	1	2	4
問IV-27	要約筆記者の研修を、外部で担う、団体、機関があれば委託したいと思いますか。							
	1 委託したいと思う		10	1	1	3	1	4
	2 委託したいとは思わない		9	1	0	0	5	3
	3 その他		11	2	2	2	1	4
問IV-28	要約筆記者の研修等で、平成30年度に変更、改善した項目があれば記載してください。							
	(回答欄)		2	0	1	0	0	1
問IV-29	要約筆記者の研修等での、課題があればお書きください。							
	(回答欄)		3	0	2	0	1	0
問IV-30	市町村で、登録手話通訳者・要約筆記者に対する頸肩腕障害健診を実施していますか。							
	1 実施している		1	0	1	0	0	0
	2 実施していない		29	5	2	5	7	10
	3 その他		1	1	0	0	0	0
問IV-31	平成29年度の健診人数は何人でしたか。手話通訳者、要約筆記者それぞれの人数を、回答欄に記載してください。							
	1 手話通訳者		0	0	0	0	0	0
	2 要約筆記者		0	0	0	0	0	0
問IV-32	診療機関は、どこですか。							
	(回答欄)		0	0	0	0	0	0
問IV-33	健診結果を受けて、市町村として、派遣依頼を差し控えた手話通訳者、要約筆記者はいましたか。							
	1 いた		0	0	0	0	0	0
	2 いない		0	0	0	0	0	0
問IV-34	頸肩腕障害健診を「実施しない」理由は何ですか。(複数回答)							
	1 予算がない		19	3	1	4	4	7
	2 診療機関がない		1	0	0	0	1	0
	3 必要性を感じない		6	0	0	1	2	3
	4 その他		10	2	2	1	2	3
問IV-35	頸肩腕健診を今後、実施する予定はありますか。							
	1 平成30年度に実施した		2	2	0	0	0	0

	2 実施の予定がある(回答欄に年度を記載)		0	0	0	0	0	0
	3 検討中		5	0	0	2	2	1
	4 実施する予定はない		21	3	3	2	5	8
	5 その他		3	2	1	0	0	0
問IV-36	頸肩腕障害健診について、平成30年度に改善、変更した事項があれば記載してください。 (回答欄)		2	0	0	1	0	1
問IV-37	頸肩腕障害健診の課題について、自由に記載してください。 (回答欄)		4	0	2	1	1	0
問IV-38	手話通訳者・要約筆記者派遣運営委員会(行政/聴覚障害者/手話通訳者・要約筆記者との派遣に関して検討する会議)は開催されていますか。							
	1 開催している		4	0	1	1	2	0
	2 開催していない		26	5	2	4	5	10
問IV-39	手話通訳者・要約筆記者派遣運営委員会は、年に何回開催していますか。							
	1 1回		2	0	1	0	1	0
	2 2回		1	0	0	1	0	0
	3 その他		1	0	0	0	1	0
問IV-40	手話通訳者・要約筆記者派遣運営委員会の構成メンバーは誰ですか。(複数回答)							
	1 市町村		4	0	1	1	2	0
	2 聴覚障害者(ろう者)		4	0	1	1	2	0
	3 聴覚障害者(難聴者)		1	0	0	0	1	0
	4 手話通訳者		4	0	1	1	2	0
	5 要約筆記者		4	0	1	1	2	0
	6 その他		1	0	0	1	0	0
問IV-41	派遣運営委員会を「開催していない」理由は何ですか。(複数回答)							
	1 登録手話通訳者・要約筆記者、聴覚障害者を集めて懇談会を行なっているから		8	3	0	3	2	0
	2 派遣について検討する必要性を感じないから		6	0	0	0	2	4
	3 その他		10	2	2	1	1	4
問IV-42	今後、開催する予定はありますか。							
	1 開催した、または開催する予定がある(回答欄に年度を記載してください)		0	0	0	0	0	0
	2 開催する予定はない		21	5	2	3	5	6
	3 検討中		4	0	0	1	0	3
問IV-43	派遣運営委員会について、平成30年度に変更、改善した項目があれば、記載してください。 (回答欄)		2	0	0	1	0	1
問IV-44	派遣運営委員会について、課題があれば、記載してください。 (回答欄)		1	0	1	0	0	0

V 手話通訳者の設置

保健福祉圏		全体集計	保健福祉圏				
市町村名			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西
質問及び回答選択肢等		回答欄					
問V-1	平成29年度に手話通訳者を、設置しましたか。						
	1 設置した	18	5	3	4	5	1
	2 設置していない	12	0	0	1	2	9
問V-2	設置手話通訳者の設置場所はどこですか。						
	1 障害福祉担当課の窓口	18	5	3	4	5	1
	2 庁舎入口	1	0	0	0	1	0
	3 その他	0	0	0	0	0	0
問V-3	設置手話通訳者の設置日、時間等について伺います。						
	1 設置日数						
	(1) 週5日	11	3	3	1	3	1
	(2) 週4日	1	0	0	1	0	0
	(3) 週3日	2	0	0	1	1	0
	(4) 週2日	1	0	0	1	0	0
	(5) 週1日	4	2	0	0	2	0
	(6) その他	0	0	0	0	0	0
	2 曜日(設置した曜日すべてに、○をしてください。)						
	(1) 月曜日	17	4	3	4	5	1
	(2) 火曜日	12	3	3	2	3	1
	(3) 水曜日	14	3	3	3	4	1
	(4) 木曜日	12	3	3	2	3	1
	(5) 金曜日	15	4	3	3	4	1
	(6) 土曜日	1	0	0	0	1	0
	(7) その他	1	0	0	0	1	0
	3 時間帯(1日の設置時間)						
	(1) 設置開始時刻(例:午前9時)	17	4	3	4	5	1
	(2) 設置終了時刻(例:午後4時)	17	4	3	4	5	1
	(3) 1日の設置時間数(例:7時間)	17	4	3	4	5	1
	(4) その他	4	2	1	0	1	0
問V-4	設置手話通訳者の人数は、何人ですか。						
	(1) 1人	11	2	2	3	3	1
	(2) 2人	7	3	1	1	2	0
	(3) 3人	1	1	0	0	0	0
	(4) その他	0	0	0	0	0	0
問V-5	設置手話通訳者の設置形態はどんな形ですか。						
	(1) 1人で、全設置日を担当している。(常時1人)	6	1	1	1	2	1
	(2) 2人が、全設置日を担当している。(常時2人)	3	1	1	1	0	0
	(3) 2人が、交替で全設置日を担当している。	7	2	1	1	3	0
	(4) 3人が、全設置日を担当している。(常時3人)	0	0	0	0	0	0
	(5) 3人が、交替で全設置日を担当している。	2	1	0	1	0	0
	(6) その他	0	0	0	0	0	0
問V-6	設置手話通訳者の、手話に関する応募資格は何ですか。(複数回答)						
	1 手話通訳士	13	4	3	3	2	1
	2 神奈川県手話通訳者	14	4	3	2	4	1
	3 市町村登録手話通訳者	10	2	3	3	2	0
	4 その他	1	1	0	0	0	0
問V-7	設置手話通訳者の身分は何ですか。						
	1 正規職員	1	0	0	0	0	1
	2 非常勤職員	9	4	3	1	1	0
	3 臨時職員	3	0	0	1	2	0
	4 嘱託職員	1	0	0	1	0	0
	5 市町村登録手話通訳者(派遣)	3	0	0	2	1	0
	6 その他	2	1	0	0	1	0
問V-8	設置手話通訳者が、正規職員ではない理由は何ですか。(複数回答)						
	1 非常勤職員等で十分に対応できている	7	2	2	0	3	0
	2 予算が確保できない	8	1	3	2	2	0
	3 正規職員だと異動等が生じ、継続して業務に専念できない	9	3	2	1	3	0
	4 人材がない	5	0	1	1	3	0
	5 その他	1	0	0	1	0	0
問V-9	設置手話通訳者の職名は何ですか。						
	1 手話通訳者	11	3	2	3	3	0
	2 派遣コーディネーター	0	0	0	0	0	0
	3 聴覚障害者相談員	1	1	0	0	0	0

合計

28

	4 窓口相談員		0	0	0	0	0	0
	5 非常勤特別職		2	1	0	0	1	0
	6 登録手話通訳者		0	0	0	0	0	0
	7 一般事務職		0	0	0	0	0	0
	8 その他		4	0	1	1	1	1
問V-10	設置手話通訳者の業務内容は何ですか。(複数回答)							
	1 手話通訳(庁内での手話通訳者、電話通訳を含む。)		18	5	3	4	5	1
	2 来庁した聴覚障害者の相談		13	5	3	2	2	1
	3 手話通訳者の派遣コーディネート		13	4	3	2	3	1
	4 要約筆記者の派遣コーディネート		11	3	3	1	3	1
	5 派遣関連事務		12	3	3	2	3	1
	6 手話奉仕員養成及び関連業務		9	3	2	1	2	1
	7 聴覚障害者関係事務		9	3	3	0	2	1
	8 身体障害者関係事務		3	0	2	0	0	1
	9 一般事務(電話対応を含む)		10	2	3	2	2	1
	10 その他		2	1	0	0	0	1
問V-11	設置手話通訳者が通訳業務のために庁外に出る(窓口を不在にする)ことはありますか。							
	1 ある		10	4	1	2	2	1
	2 ない		8	1	2	2	3	0
	3 その他		0	0	0	0	0	0
問V-12	平成29年度に設置手話通訳者のもとに来庁される方の相談内容別件数は何件ですか。回答欄に延件数をご記入ください。分類していない場合は、その他に延件数を記載ください。							
	1 生活全般に関する事		1	1	0	0	0	0
	2 仕事に関する事		1	1	0	0	0	0
	3 福祉制度・派遣に関する事		1	1	0	0	0	0
	4 対人関係に関する事		1	1	0	0	0	0
	5 通知文等(日本語)の確認		2	1	0	0	1	0
	6 電話通訳		5	2	1	0	2	0
	7 その他		18	5	3	4	5	1
問V-13	手話通訳者を設置していない理由は何ですか。(複数回答)							
	1 市町村内に対象者がいない		1	0	0	0	0	1
	2 聴覚障害者からの希望、要望がない		7	0	0	0	2	5
	3 設置する予算がない		5	0	0	0	1	4
	4 担い手となる手話通訳者がいない		6	0	0	0	1	5
	5 聴覚障害者来所は事前予約し、手話通訳者を派遣しているから		3	0	0	1	1	1
	6 その他		2	0	0	0	0	2
問V-14	今後、手話通訳者を設置する予定はありますか。							
	1 設置する予定はない		10	0	0	0	2	8
	2 設置について検討している		2	0	0	1	0	1
	3 設置する予定(設置する年度を回答欄に記載ください)		0	0	0	0	0	0
問V-15	手話通訳者設置事業に関して、平成30年度から改善、変更した項目があれば記載してください。							
	(回答欄)		9	0	2	2	4	1
問V-16	手話通訳者設置事業の課題について、自由にお書きください。							
	(回答欄)		10	1	3	1	4	1
問V-17	設置手話通訳者に対して、神奈川県聴覚障害者福祉センターからどんな支援があると良いと思いますか。(複数回答)							
	1 手話通訳者・要約筆記者派遣関係							
	(1)派遣に関する助言等		21	4	2	3	3	9
	(2)派遣の課題に対しての巡回協議		5	1	0	1	1	2
	(3)派遣の関しての他市町村との連携会議		9	2	1	0	3	3
	(4)派遣の関しての情報交換		20	4	3	3	4	6
	(5)その他		0	0	0	0	0	0
	2 聴覚障害者相談関係							
	(1)相談に関する助言等		19	4	2	3	3	7
	(2)相談の課題に対して巡回協議		4	1	0	1	0	2
	(3)相談に關しての他市町村等との連携会議		9	3	1	0	3	2
	(4)相談に関する情報交換		18	5	2	2	4	5
	(5)聴覚障害者への巡回相談		9	1	1	2	2	3
	(6)その他		1	0	0	1	0	0
	3 その他		1	0	0	0	1	0

VI 手話通訳者派遣

保健福祉圏		全体集計	保健福祉圏						
市町村名			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西		
質問及び回答選択肢等		回答欄							
問VI-1	手話通訳者の派遣制度がありますか。								
	1 ある		30	5	3	5	7	10	
	2 ない		0	0	0	0	0		
問VI-2	手話通訳者の登録人数は、何人ですか。(平成30年3月31日現在)								
	1 手話通訳者登録者人数(人数を市町村居住者別に回答欄に記載してください)								
		市町村内居住手話通訳者登録者数	183	40	40	34	59	10	
		市町村外居住手話通訳者登録者数	94	35	10	14	5	30	
	2 登録制度はない		5	0	0	0	2	3	
	3 その他		1	0	0	0	1	0	
問VI-3	平成29年度の手話通訳者派遣件数、人数は延何件、延何人ですか。例に従い、回答欄に記載してください。 (例)学校説明会の手話通訳者派遣で、時間が長時間のため、手話通訳者を2人派遣した。同一の場所、時間帯の派遣なので、1件、2人となります。								
	1 件数		5,868	1,571	1,198	1,103	1,625	371	
	2 人数		6,488	1,673	1,293	1,326	1,787	409	
問VI-4	手話通訳者に対する派遣報酬はいくらですか。例に従って、各派遣時間区分時点での報酬金額を回答欄に記載してください。 (例)神奈川県手話通訳者、要約筆記者報酬基準額(平成30年8月31日現在) 4時間未満 3,900円、6時間未満 5,800円、8時間未満 8,000円、8時間以上 10,200円								
		派遣時間	県基準例(円)	平均額	平均額	平均額	平均額	平均額	
		1時間	3,900	4,078	4,240	3,667	4,380	4,393	3,750
		1時間30分	3,900	4,098	4,240	3,667	4,500	4,393	3,750
		2時間	3,900	4,252	4,240	3,667	4,620	4,964	3,750
		2時間30分	3,900	4,465	4,440	3,833	4,980	5,236	3,870
		3時間	3,900	4,732	4,440	4,000	5,100	5,621	4,290
		3時間30分	3,900	5,378	4,640	4,167	5,660	5,893	5,610
		4時間	5,800	5,648	4,640	4,333	5,780	6,450	5,920
		4時間30分	5,800	6,645	5,660	6,167	6,450	7,814	6,560
		5時間	5,800	6,790	5,660	6,333	6,680	8,200	6,560
		5時間30分	5,800	7,198	6,280	6,833	7,350	8,471	6,800
		6時間	8,000	7,583	6,280	7,000	7,580	9,143	7,320
		6時間30分	8,000	8,115	6,900	7,500	8,250	9,514	7,860
		7時間	8,000	8,283	6,900	7,667	8,480	10,000	7,860
		7時間30分	8,000	8,715	7,520	8,167	9,150	10,371	8,100
		8時間	10,200	8,957	7,520	8,333	9,380	10,857	8,320
問VI-5	手話通訳者に対する交通費は、報酬とは別に支給していますか。								
	1 全額支給している		9	1	1	2	2	3	
	2 一部支給している		10	1	2	1	3	3	
	3 支給していない		9	1	0	2	2	4	
	4 その他		4	2	1	0	0	1	
問VI-6	交通費を「全額支給している」、「一部支給している」と回答した市町村に伺います。交通費の積算根拠は何ですか。								
	1 自宅から派遣会場までの、公共交通機関を利用したの、最も経済的な経路での往復実費。		6	0	1	0	2	3	
	2 自宅から派遣会場までの往復実費。		2	0	0	1	0	1	
	3 市町村役場から派遣会場までの公共交通機関を使用したの往復実費		2	1	0	0	1	0	
	4 一律定額(金額を回答欄に記載してください。)		8	1	1	1	2	3	
	5 その他		3	2	1	0	0	0	
問VI-7	交通費を「支給していない」と回答した市町村に伺います。交通費を支給していない理由は何ですか。								
	1 報酬に含まれているから		6	1	0	2	2	1	
	2 予算がないため		0	0	0	0	0	0	
	3 その他		3	0	0	0	0	3	
問VI-8	手話通訳者の派遣できる時間帯を定めていますか。								
	1 定めている		12	1	1	1	4	5	
	2 定めていない		16	4	2	4	2	4	
	3 その他		1	0	0	0	1	0	
問VI-9	手話通訳を依頼できる、1日の時間数は定めていますか。								
	1 定めている		7	0	1	1	1	4	
	2 定めていない		22	5	2	3	6	6	
	3 その他		1	0	0	1	0	0	
問VI-10	手話通訳者派遣で、報酬費、交通費以外に、支給している手当がありますか。(複数回答)								
	1 時間外手当		2	0	0	1	0	1	

	2 深夜・早朝手当		10	2	1	2	1	4
	3 遠距離手当		0	0	0	0	0	0
	4 その他		8	3	0	1	1	3
問VI-11	手話通訳者派遣業務終了後、報告書を提出することになっていますか。							
	1 報告書の提出義務がある		29	5	3	5	6	10
	2 報告書の提出義務はない		1	0	0	0	1	0
問VI-12	報告書から手話通訳者、聴覚障害者に問題・課題があると思った場合、もしくは派遣終了後、派遣者や聴覚障害者等から問題提起や相談があった場合にどのような対応をしていますか。(複数回答)							
	1 派遣した手話通訳者へ確認を取っている		20	4	3	3	5	5
	2 対象の聴覚障害者や主催者へ確認を取っている		16	4	3	3	4	2
	3 手話通訳者と今後の対応について相談している		16	4	2	4	3	3
	4 課内で今後の対応について相談している		20	4	3	4	4	5
	5 その他		3	1	0	0	1	1
問VI-13	平成29年度に、聴覚障害者から手話通訳者派遣申請があったが、派遣できなかったことはありましたか。							
	1 ある		12	2	2	3	4	1
	2 ない		18	3	1	2	3	9
問VI-14	手話通訳者を派遣できなかった理由は何ですか。(複数回答)							
	1 登録手話通訳者の都合がつかず、手配ができなかったため		2	1	0	0	1	0
	2 直近(派遣希望日の前日など)の申請だったため		5	1	1	1	1	1
	3 要綱に該当しないため		10	1	2	3	4	0
	4 その他		0	0	0	0	0	0
問VI-15	平成30年度に、手話通訳者派遣事業で改善、変更した項目があれば記載してください。(回答欄)							
			7	1	2	0	2	2
問VI-16	手話通訳者派遣の課題について、自由に記載してください。(回答欄)							
			16	2	3	3	5	3
問VI-17	手話通訳者派遣が「ない」と回答した市町村に伺います。手話通訳者派遣を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)							
	1 市町村内に対象者がいない		0	0	0	0	0	0
	2 聴覚障害者からの希望、要望がない		0	0	0	0	0	0
	3 手話通訳者派遣する予算がない		0	0	0	0	0	0
	4 担い手となる手話通訳者がいない		1	0	0	0	0	1
	5 その他		0	0	0	0	0	0
問VI-18	手話通訳者派遣が「ない」と回答した市町村に伺います。今後、手話通訳者派遣事業を実施する予定はありますか。							
	1 平成30年度から実施した		0	0	0	0	0	0
	2 実施を予定している(平成 年度から)		0	0	0	0	0	0
	3 実施する予定はない		0	0	0	0	0	0
	4 その他		1	0	0	0	0	1

Ⅶ 要約筆記者派遣

保健福祉圏		全体集計	保健福祉圏						
市町村名			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西		
質問及び回答選択肢等		回答欄							
問Ⅶ-1	要約筆記者の派遣制度はありますか。								
	1	ある	28	4	3	5	7	9	
	2	ない	2	1	0	0	0	1	
問Ⅶ-2	派遣できる要約筆記者の種類は何ですか。								
	1	手書き要約筆記者、パソコン要約筆記者の両方	24	4	3	5	7	5	
	2	手書き要約筆記者だけ	0	0	0	0	0	0	
	3	パソコン要約筆記者だけ	0	0	0	0	0	0	
	4	その他	4	0	0	0	0	4	
問Ⅶ-3	「手書き要約筆記者派遣」を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)								
	1	市町村内に対象者がいない	0	0	0	0	0	0	
	2	聴覚障害者からの希望、要望がない	1	0	0	0	1	0	
	3	予算が確保できない	0	0	0	0	0	0	
	4	担い手となる手書き要約筆記者がいない	2	0	0	0	0	2	
	5	その他	1	0	0	0	0	1	
問Ⅶ-4	「パソコン要約筆記者派遣」を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)								
	1	市町村内に対象者がいない	1	0	0	0	0	1	
	2	聴覚障害者からの希望、要望がない	2	0	0	0	1	1	
	3	予算が確保できない	0	0	0	0	0	0	
	4	担い手となるパソコン要約筆記者がいない	2	0	0	0	0	2	
	5	パソコン要約筆記に必要な、機材が整備できない	1	0	0	0	0	1	
	6	その他	1	0	0	0	0	1	
問Ⅶ-5	要約筆記者派遣に必要な用具、機材等は、誰が用意しますか。該当する派遣について、ご回答ください。								
	1 手書き要約筆記者派遣								
	(1)	利用者または主催者	16	1	1	3	5	6	
	(2)	派遣元の市町村	8	2	2	0	3	1	
	(3)	派遣される要約筆記者	10	3	0	2	4	1	
	(4)	その他	4	0	0	0	0	4	
	2 パソコン要約筆記者派遣								
	(1)	利用者または主催者	15	1	0	3	5	6	
	(2)	派遣元の市町村	11	2	3	1	3	2	
	(3)	派遣される要約筆記者	13	4	1	2	4	2	
(4)	その他	4	0	0	0	0	4		
問Ⅶ-6	要約筆記者の登録人数を、例に基づき、回答欄に、市町村居住者、市町村外居住者別に、人数をご記載ください。(平成30年3月31日現在) (例)手書き、パソコンの両登録者は、それぞれに含めてください。手書きのみ15人、パソコンのみ10人、両方3人の場合、手書き18人、パソコン13人、内、両方3人と記載します。								
	1 手書き要約筆記者								
		市町村内居住要約筆記者数	人数	141	51	32	16	26	16
		市町村外居住要約筆記者数	人数	61	18	12	9	15	7
	2 パソコン要約筆記者								
		市町村内居住要約筆記者数	人数	88	31	21	13	19	4
		市町村外居住要約筆記者数	人数	95	21	16	21	27	10
	3 内、両登録者								
		市町村内居住要約筆記者数	人数	26	7	7	0	10	2
		市町村外居住要約筆記者数	人数	28	5	7	6	8	2
	4 登録制度はない			6	0	0	0	2	4
	5 その他			1	0	0	0	1	0
	問Ⅶ-7	平成29年度の要約筆記者派遣件数、人数は延何件、延何人ですか。例に従い、回答欄に記載してください。 (例)学校説明会の要約筆記者派遣で、時間が長時間のため、要約筆記者を2人派遣した。同一の場所、時間帯の派遣なので、1件、2人となります。							
1 手書き要約筆記者									
(1)		件数	件数	516	338	43	34	42	59
(2)		人数	人数	810	449	107	49	59	146
2 パソコン要約筆記者									
(1)		件数	件数	222	125	39	30	19	9
(2)	人数	人数	690	373	140	86	60	31	
問Ⅶ-8	要約筆記者に対する派遣報酬はいくらですか。例に従って、各派遣時間区分時点での報酬金額を回答欄に記載してください。								

(例)神奈川県手話通訳者、要約筆記者報酬基準額(平成30年8月31日現在) 4時間未満 3,900円、6時間未満 5,800円、8時間未満 8,000円、8時間以上 10,200円									
派遣時間	県基準例(円)	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
1時間	3,900	4,105	4,200	3,667	4,380	4,679	3,611		
1時間30分	3,900	4,105	4,200	3,667	4,380	4,679	3,611		
2時間	3,900	4,177	4,200	3,667	4,380	4,964	3,611		
2時間30分	3,900	4,348	4,200	3,833	4,620	5,236	3,744		
3時間	3,900	4,613	4,200	4,000	4,620	5,621	4,211		
3時間30分	3,900	5,248	4,200	4,167	5,060	5,893	5,678		
4時間	5,800	5,580	4,200	4,333	5,060	6,707	6,022		
4時間30分	5,800	6,357	4,950	6,167	6,050	6,979	6,733		
5時間	5,800	6,491	4,950	6,333	6,160	7,364	6,733		
5時間30分	5,800	6,904	5,700	6,833	6,710	7,636	7,000		
6時間	8,000	7,295	5,700	7,000	6,820	8,307	7,578		
6時間30分	8,000	7,839	6,450	7,500	7,370	8,679	8,178		
7時間	8,000	7,998	6,450	7,667	7,480	9,164	8,178		
7時間30分	8,000	8,436	7,200	8,167	8,030	9,536	8,444		
8時間	10,200	8,673	7,200	8,333	8,140	10,021	8,689		
問Ⅶ-9	要約筆記者に対する交通費は、報酬とは別に支給していますか。								
	1 全額支給している		10	1	1	2	3	3	
	2 一部支給している		9	1	2	1	2	3	
	3 支給していない		7	0	0	2	2	3	
	4 その他		4	2	1	0	0	1	
問Ⅶ-10	交通費を「全額支給している」、「一部支給している」と回答した市町村に伺います。交通費の積算根拠は何ですか。								
	1 自宅から派遣会場までの、公共交通機関を利用しての、最も経済的な経路での往復実費。		6	0	1	0	2	3	
	2 自宅から派遣会場までの往復実費。		1	0	0	1	0	0	
	3 市町村役場から派遣会場までの公共交通機関を使用するの往復実費		2	1	0	0	1	0	
	4 一律定額(金額を回答欄に記載してください。)		8	1	1	1	2	3	
	5 その他		3	2	1	0	0	0	
問Ⅶ-11	交通費を「支給していない」と回答した市町村に伺います。交通費を支給していない理由は何ですか。								
	1 報酬に含まれているから		5	0	0	2	2	1	
	2 予算がないため		0	0	0	0	0	0	
	3 その他		2	0	0	0	0	2	
問Ⅶ-12	要約筆記者の派遣できる時間帯を定めていますか。								
	1 定めている		12	0	1	1	5	5	
	2 定めていない		16	4	2	4	2	4	
	3 その他		0	0	0	0	0	0	
問Ⅶ-13	要約筆記者を依頼できる、1日の時間数は定めていますか。								
	1 定めている		6	0	1	1	1	3	
	2 定めていない		20	4	1	3	6	6	
	3 その他		1	0	0	1	0	0	
問Ⅶ-14	要約筆記者派遣で、報酬費、交通費以外に、支給している手当がありますか。(複数回答)								
	1 時間外手当		2	0	0	1	0	1	
	2 深夜・早朝手当		9	1	1	2	1	4	
	3 遠距離手当		0	0	0	0	0	0	
	4 パソコン借用料		0	0	0	0	0	0	
	5 その他		9	2	0	2	2	3	
問Ⅶ-15	要約筆記者派遣業務終了後、報告書を提出することになっていますか。								
	1 報告書の提出義務がある		26	4	3	4	6	9	
	2 報告書の提出義務はない		2	0	0	1	1	0	
問Ⅶ-16	報告書から要約筆記者、聴覚障害者に問題・課題があると思った場合、もしくは派遣終了後、派遣者や聴覚障害者等から問題提起や相談があった場合にどのような対応をしていますか。(複数回答)								
	1 派遣した要約筆記者へ確認を取っている		14	3	2	3	4	2	
	2 対象の聴覚障害者や主催者へ確認を取っている		12	2	2	2	5	1	
	3 要約筆記者と今後の対応について相談している		12	3	2	3	3	1	
	4 課内で今後の対応について相談している		17	3	3	4	5	2	
	5 その他		8	1	0	1	1	5	
問Ⅶ-17	平成29年度に、聴覚障害者から要約筆記者派遣申請があったが、派遣できなかったことはありましたか。								

	1 ある		5	0	1	2	2	0
	2 ない		22	4	2	3	5	8
問Ⅶ-18	要約筆記者を派遣できなかった理由は何ですか。(複数回答)							
	1 登録要約筆記者の都合がつかず、手配ができなかったため		0	0	0	0	0	0
	2 直近(派遣希望日の前日など)の申請だったため		0	0	0	0	0	0
	3 要綱に該当しないため		5	0	1	2	2	0
	4 その他		0	0	0	0	0	0
問Ⅶ-19	平成30年度に、要約筆記者派遣事業で改善、変更した項目があれば記載してください。(回答欄)							
			6	0	2	1	1	2
問Ⅶ-20	要約筆記者派遣の課題について、自由に記載してください。(回答欄)							
			12	0	3	3	3	3
問Ⅶ-21	問Ⅶ-1で、要約筆記者派遣制度が「ない」と回答した市町村に伺います。要約筆記者派遣事業を実施する予定はありますか。							
	1 平成30年度から実施した		0	0	0	0	0	0
	2 実施を予定している(年度を回答欄に記載してください)		0	0	0	0	0	0
	3 実施する予定はない		3	1	0	0	0	2
	4 その他		0	0	0	0	0	0
問Ⅶ-22	問Ⅶ-1で、要約筆記者派遣制度が「ない」と回答した市町村に伺います。「手書き要約筆記者派遣」を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)							
	1 市町村内に対象者がいない		1	0	0	0	0	1
	2 聴覚障害者からの希望、要望がない		1	1	0	0	0	0
	3 予算が確保できない		0	0	0	0	0	0
	4 担い手となる手書き要約筆記者がいない		2	0	0	0	0	2
	5 その他		0	0	0	0	0	0
問Ⅶ-23	問Ⅶ-1で、要約筆記者派遣制度が「ない」と回答した市町村に伺います。「パソコン要約筆記者派遣」を実施していない理由は何ですか。(複数回答可)							
	1 市町村内に対象者がいない		1	0	0	0	0	1
	2 聴覚障害者からの希望、要望がない		1	1	0	0	0	0
	3 予算が確保できない		0	0	0	0	0	0
	4 担い手となるパソコン要約筆記者がいない		2	0	0	0	0	2
	5 パソコン要約筆記に必要な、機材が整備できない		2	1	0	0	0	1
	6 その他		0	0	0	0	0	0

VIII 聴覚障害者相談

保健福祉圏		全体集計	保健福祉圏					
市町村名			横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	
質問及び回答選択肢等		回答欄						
問Ⅶ-1	平成29年度に、障害福祉担当課に、聴覚障害児・者からの相談がありましたか。							
	1 あった		26	5	3	5	6	7
	2 なかった		4	0	0	0	1	3
問Ⅶ-2	どんな相談が、何件ありましたか。それぞれの回答欄に延件数を記載してください。分類をしていない場合は、その他の延件数を記載してください。							
	1 生活全般に関する事	件数	169	150	17		2	
	2 仕事に関する事	件数	7	2	3		2	
	3 福祉制度・派遣に関する事	件数	466	436	21		7	
	4 対人関係に関する事	件数	4		3	1		
	5 法律に関する事	件数	18		18			
	6 コミュニケーションに関する事	件数	2				2	
	7 家族関係に関する事	件数	9		9			
	8 通知文等(日本語)の確認	件数	41	20	21			
	9 補聴器や福祉機器に関する事	件数	71	48	2	8	2	11
	10 手話、読話などの学習に関する事	件数	3			1	2	
	11 電話通訳	件数	311	92	164		55	
	12 その他	件数	6,690	1,132	1,429	536	3,356	237
問Ⅶ-3	相談を、主に担当したのは誰ですか。							
	1 ケースワーカー		10	2	0	3	4	1
	2 設置手話通訳者		14	4	3	3	3	1
	3 身体障害者相談員		1	0	0	0	1	0
	4 事務担当者		12	2	0	3	3	4
	5 その他		4	0	1	0	1	2
問Ⅶ-4	聴覚障害者の相談を受ける上で、どんなことに苦労しましたか。(複数回答)							
	1 コミュニケーション		13	3	1	3	4	2
	2 本人の意思確認		20	4	3	3	5	5
	3 相談内容の整理		20	4	3	3	6	4
	4 家族からの意見聴取		5	1	1	0	1	2
	5 その他		1	0	0	0	0	1
	6 特に、苦労したことはない		3	1	0	0	0	2
問Ⅶ-5	聴覚障害者の相談について、課内でのケース会議を行いましたか。							
	1 実施した		7	0	1	1	3	2
	2 実施していない		18	5	2	3	3	5
	3 その他		1	0	0	1	0	0
問Ⅶ-6	課内でのケース会議を行っていない理由は何ですか。							
	1 必要ないから		9	3	0	1	1	4
	2 時間が取れない		2	0	0	0	1	1
	3 その他		9	2	2	2	2	1
問Ⅶ-7	相談内容によっては、他機関との連携会議を持ちましたか。							
	1 他機関との連携会議を行った		8	1	2	2	2	1
	2 連携会議は行っていない		15	4	1	3	4	3
	3 その他		2	0	0	0	0	2
問Ⅶ-8	聴覚障害と、他の障害を持った重複障害の方の相談はありましたか。							
	1 あった		11	4	2	1	2	2
	2 なかった		15	1	1	4	4	5
問Ⅶ-9	聴覚障害と、他の障害を持った重複障害の方の相談について、「他の機関等と連携」を行いましたか。							
	1 行ったことがある		6	2	2	0	1	1
	2 行ったことがない		6	3	0	1	1	1
問Ⅶ-10	「他の機関等との連携」で、どんな連携を取りましたか。(複数回答)							
	1 他の機関とケース会議を実施し、対応を検討した		5	2	2	0	0	1
	2 他の機関を紹介して、対応を依頼した		3	1	0	0	1	1
	3 他の機関と市町村で役割分担を行い、対応した		3	1	1	0	0	1
	4 他の機関と情報交換を行った		5	1	2	0	1	1
	5 その他		1	0	0	0	0	1
問Ⅶ-11	「他の機関等と連携」を行わなかったのは、どうしてですか。(複数回答)							
	1 庁内で十分な対応ができた		5	2	0	1	1	1

	2 連携する機関等が分からなかった		0	0	0	0	0	0	0
	3 連携する必要を感じなかった		1	1	0	0	0	0	0
	4 その他		0	0	0	0	0	0	0
問Ⅷ-12	高齢聴覚障害者の方の相談はありましたか。								
	1 あった		18	4	3	4	5	2	
	2 なかった		8	1	0	1	1	5	
問Ⅷ-13	高齢聴覚障害者の相談で、どんな相談がありましたか。(複数回答)								
	1 1人暮らしへのアドバイス		8	2	1	1	3	1	
	2 住環境の改善		12	2	3	2	3	2	
	3 食生活の改善		6	2	1	1	1	1	
	4 体調管理等		11	2	3	2	3	1	
	5 家族介護		3	0	1	1	1	0	
	6 施設入所		4	2	0	1	1	0	
	7 その他		7	2	1	2	1	1	
問Ⅷ-14	中途失聴・難聴の方からの相談はありましたか。								
	1 あった		20	5	3	3	4	5	
	2 なかった		6	0	0	2	2	2	
問Ⅷ-15	中途失聴・難聴の方からどんな相談がありましたか。(複数回答)								
	1 身体障害者手帳の取得等の福祉制度の利用		14	4	2	2	3	3	
	2 補聴器、人工内耳		15	3	2	3	3	4	
	3 病院等の紹介		3	0	1	0	1	1	
	4 手話、読話等のコミュニケーションの学習		6	1	2	1	1	1	
	5 中途失聴・難聴者の集まり、グループ		5	1	2	0	1	1	
	6 要約筆記者の派遣		10	3	2	1	3	1	
	7 その他		3	0	1	0	0	2	
問Ⅷ-16	聴覚障害児(保護者を含む)からの相談はありましたか。								
	1 あった		18	5	3	4	2	4	
	2 なかった		8	0	0	1	4	3	
問Ⅷ-17	聴覚障害児(保護者を含む)から、どんな相談がありましたか。(複数回答)								
	1 身体障害者手帳の取得等の福祉制度の利用		10	3	2	2	1	2	
	2 補聴器の購入に関すること		2	1	1	0	0	0	
	(1)補装具の支給		11	4	2	3	1	1	
	(2)軽度・中等度難聴児への補聴器購入補助		15	4	2	4	1	4	
	3 その他		5	2	1	0	1	1	
問Ⅷ-18	聴覚障害児者の相談をととして、神奈川県聴覚障害者福祉センターからどんな支援があると良いと思いますか。(複数回答)								
	1 相談員の派遣による課題検討会議の実施		6	0	2	1	1	2	
	2 他の市町村との協働によるケース会議の実施		3	1	1	0	0	1	
	3 情報共有のためのネットワーク		20	3	2	3	6	6	
	4 聴覚障害者相談の資質向上のための研修		10	3	3	0	1	3	
	5 定期的な地域での聴覚障害者相談の実施		17	2	3	3	3	6	
	6 その他		1	0	0	0	0	1	

